

新品種を育て、都市住民との交流に活用

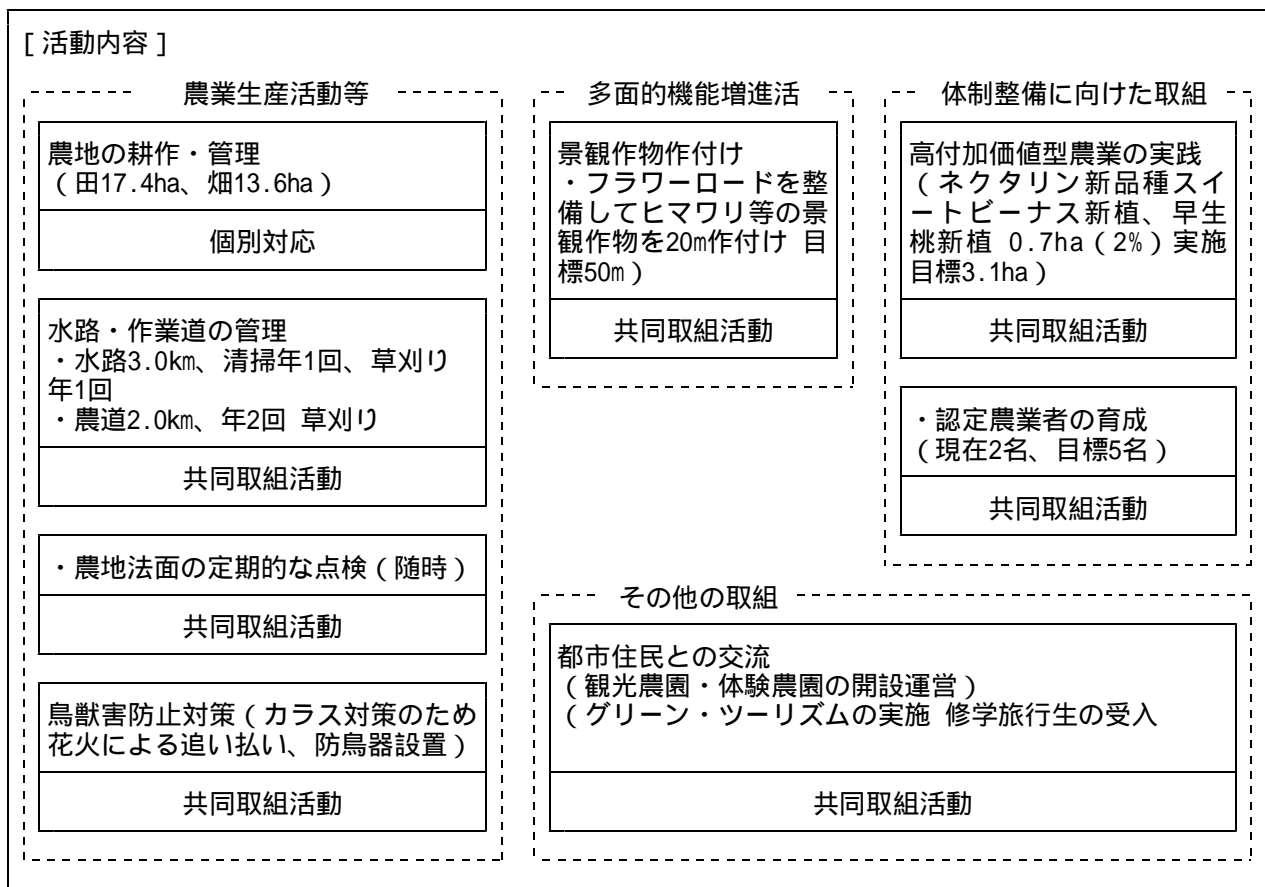
1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県 ^{さんのへぐんなんぶちよう} 三戸郡南部町 ^{ふたまた} 二又			
協定面積 30.9ha	田 (56%)	畑 (44%)	草地	採草放牧地
	水稻	果樹		
交付金額 305万円	個人配分			60%
	共同取組活動 (40%)	担当者活動経費		6%
		鳥獣害防止対策及び水路・農道等の維持管理等経費		10%
		体制整備に関する活動経費		11%
		交付金の積立・繰越(農道整備のため)		10%
その他(町内会館使用料ほか)			3%	
協定参加者	農業者 42人、非農業者 6人			

2. 集落マスタープランの概要

当集落は花壇を整備したり盆踊りを行うなど、集落が一体となって様々な活動を行っているほか、水田にホタルが生息しているなど自然環境が豊かな地域である。

しかし、若者たちの都市部への流出により年々人口が減少、高齢化が進み農業後継者が不足していることから、集落全世帯の協力を得て農村景観や水源機能、文化継承などの多面的機能を次世代に継承し、持続性のある農業生産活動を可能にするため、集落機能を維持していくことで集落全体が合意し、マスタープランを作成した。



3. 取組の経緯及び内容

若者たちの都市部への流出により高齢化が進み、農業後継者が不足していることから集落内の担い手を中心に、水路・農道の維持管理及び農地法面の定期的な点検を行っている。また、フラワーロードにひまわり等を植え付けたり、ネクタリンや白桃の新品種を新植し、観光農園や体験農園を整備して都市住民との交流をはかるなど、豊かな自然にふれられる環境を維持しながら、積極的な活動をしていきたい。



農用地等保全マップ

水路・農道を対象とした補修・改良位置、景観作物の作付場所、鳥獣害対策を行う農用地等、将来にわたって適正に農用地を保全していくための計画を図面に示した。

農用地等保全マップ



観光農園で桃のもぎ取り体験



桃の試食会

[平成21年度までの取組目標]

フラワーロードを整備してヒマワリ等の景観作物を植え付ける（現状20m、目標50m）

高付加価値型農業の実践

・ネクタリン新品種（スイートピーナス）早生白桃をを新植。（現状0.7ha、目標3.1ha（協定農用地面積の10%））

認定農業者の育成（現在2名、目標5名）

エコファーマーの育成（現在11名、目標12名）

保健休養機能を活かした都市住民との交流。

(1)観光農園：農園PR、農産物の園地即売（平成14年8月開園、18年度200名来園）

(2)体験農園：都市住民との交流（平成14年8月開園、18年度100名来園、料理講習会20名、試食会30名）・修学旅行生の受け入れ（18年度6校20名受け入れ）